

2019 年度第 7 回執行理事会議事録

期日：2020 年 2 月 16 日（日）14:00～17:00

場所：神田須田町ホール 4 階 会議室（千代田区神田須田町）

出席者：松田，佐々木，斎藤，安藤（15 時～），磯崎，岡田，緒方，大藤，小宮，坂口，田村，中澤，西，廣木，星，辻森，ウォリス

欠席者（委任状提出あり，カッコ内は委任者）：平田

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 17 名，委任状 1 名，合計 18 名の出席

*1 月議事録が確認された

*執行理事会開始前に JABEE に関する講習会を行った。（一社）日本技術者教育認定機構の三田清文専務理事に講演頂いた。

I 審議事項

1. 山田科学振興財団研究助成候補者推薦について，1 名の会員から推薦依頼があり学会推薦することとした。
2. 完新世後期 Meghalayan の日本語（カタカナ）標記について
ネイティブからの聞き取りを含め各方面を調査検討した結果，「メガラヤン」と表記することとした。
3. 令和 2 年度大学入試センター試験の結果について（廣木）
地学関連科目の内容と平均点について，今年度とこの 5 年間の傾向を検討した。地学の平均点が他科目に比べて低落傾向が続いているので大学入試センターに意見することとした。
4. 会員管理業務における課題 3 点について（緒方）
課題 1：会員名簿発行年と代議員選挙年が重なり事務量が過大。2021 年以降の名簿発行については，個人情報取り扱いなど含めて継続審議とする。
課題 2：会員登録システムは，会員が編集可能なオンラインシステムと，事務局のオフラインの本システムとが二重になっており，同期等管理が煩雑。継続審議とする。
課題 3：滞納会費を精算した会員に雑誌等のバックナンバーをまとめて送る作業量が過大。バックナンバーの長期保管も負担となっている。バックナンバーは原則として送付しないこととし，希望者にのみ送付する。
5. 地質学雑誌の電子化を見据えた会員サービスについて（斎藤）
会員サービスについてタスクフォース委員会斎藤委員長からの報告に基づいて議論した。
6. その他
 - ・ 会員動向について報告があり情報を共有した。
 - ・ これまで学術大会の広報は LOC が単独で行ってきたが，名古屋大会からは LOC と広報委員会が協力して行うこととする。名古屋大会ではポスターおよびビラを配布する。

II 報告事項

1. 全体的報告

・ 選挙管理委員会（斎藤）

2/10 に理事立候補届が締切られた。2/13 に選挙管理委員会を開催。当選代議員による理事選挙（投票）が行われることになった。監事選挙は無投票当選。

・ 学会組織の再編について（佐々木）

組織再編に向けた工程案が報告された。次回執行理事会で再編案を答申予定。また規則や選挙に関わる課題が挙げられ、今後検討することとした。

・ 日本学術会議より「軍事的安全保障に関する声明（2017.3.24）」に関連した取り組み状況についてアンケート協力依頼があった。

軍事的安全保障研究に関する学会での過去及び今後の議論の有無や必要性について問があり、特になし旨回答した。

・ 日本学術会議の第24期学術の大型研究計画に関するマスタープランが公表され、地質学会から提案した学術大型研究計画「地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築（計画番号94 学術領域番号24-1）」が選定された。

・ 講演要旨電子化アンケート中間報告（2/6現在）：賛成75名93%、反対6名7%（うち1名は条件次第で賛成）2/28締切

・ 執行理事会のオンライン会議テスト：テスト（2回目）2/12（水）を行った。

・ サザンプトン大学 Dr. Robert Nesbitt より、柵山賞に関する問い合わせがあり、賞の設立背景や賞金等賞に関する情報を回答した。同大学にも同名の賞があるが（Sakuyama Prize：1984設立）、特に問題はない。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

・ 公益財団法人国土地理協会2020年度学術研究助成募集（4/15締切）←News2月号、メルマガ、HPに掲載

・ 第17回（令和2年度）日本学術振興会賞受賞候補者推薦依頼（4/6締切、学会締切3/23）←News2月号、メルマガ、HPに掲載

・ コスモス国際賞推薦依頼（4/10締切、学会締切3/27）←News2月号、メルマガ、HPに掲載

・ 令和2年度苗場山麓ジオパーク学術研究活動募集（3/6締切）→メルマガ、HPに掲載

・ 科学教育研究協議会第68回全国研究大会・福島大会（会期2020年8月1日～3日 於福島県伊達市立霊山中学校）への後援依頼があり、承諾した。

<会員>

1. 今月の入会者（正会員2名）

正会員（2名）石井文也（2019年度～） 山崎誠子（2020年度～） 正会員（学部割）会員（1名） 岩永健一郎（2019年度～）

2. 今月の退会者（正会員4名）

上野 輝彌 石田朋志 小原 稔 望月健太

3. 今月の逝去者(正会員 2名)

伊藤英之(逝去日 2019年10月1日) 橘 彰一(逝去日 2019年12月4日)

4. 2020年1月末会員数

賛助: 27 名誉: 48 正会員: 3348 正(院割)会員: 165 正(学部割)会員: 15

合計 3603 (昨年比 -76)

<会計>

特になし

3. 広報部会: 広報委員会(坂口・小宮)

1) 惑星地球フォトコンテスト

- ・ 第11回惑星地球フォトコンテスト(1/31締切): 応募総数 374点(昨年比+26) うち会員 31点, 中高生 19点など. 2/20に二次審査, 5月23日(土)表彰式を予定(北とぴあ, 同日総会開催).
- ・ 第10回入選作品展示会を開催中: 2月9日(日)~3月15日(日)(水戸市立博物館: 茨城県水戸市大町), 3月20日(金・祝)~6月28日(日)(蒲郡市生命の海科学館: 愛知県蒲郡市, 地質学会共催)

2) その他

- ・ 読売 KODOMO 新聞より「県の化石」について取材協力依頼があった. 井龍理事が対応. 2020年2月13日号見開き特集面掲載予定.

4. 学術研究部会(磯崎・ウォリス・岡田・辻森)

1) 行事委員会(岡田)

- ・ 名古屋大会: トピックセッション募集中(締切 3/10)

2) 国際交流委員会(ウォリス)

- ・ 台湾地質学会より, 会長名のグリーティングカードが送付された.

3) JIS, 標準担当(中澤)

- ・ 完新世後期 Meghalayan の日本語(カタカナ)標記について→審議事項へ

4) その他

- ・ 山田科学振興財団研究助成推薦依頼(1件あり)→審議事項へ

5. 編集出版部会(大藤・田村)

1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

(1) 編集状況報告(2月10日現在).

- ・ 2020年投稿論文: 16 [内訳] 論説 5 (和文 4・英文 1), レター 2 (和文), 報告 1 (和文 1), 巡検案内書 8
- ・ 査読中: 37 受理済み: 17 (うち特集号 6)
- ・ 126巻2月号(通常号)4編(計 55頁, 校正中. 2/21校了予定)

- ・ 名古屋大会巡検案内書：8コース全て投稿済み。査読中。

2) アイランドアーク編集委員会(辻森)

(1) 編集状況報告

- ・ 受理および掲載のフローが改善され、受理後の論文公開が著しく早くなった。

3) 企画出版委員会 (小宮)

特になし

6. 社会貢献部会 (星・廣木・中澤)

- ・ 2020年度「地質の日」街中ジオ散歩 in Yokohama「身近な地形・地質から探る横浜の発展」(5/16土)を準備中。横浜教育委員会後援申請中。一般(非会員)向けで募集準備中。人気ツアーになることが期待される。

7. 地質技術者教育委員会 (佐々木)

- ・ 1月22日 JABEE地球・資源分野の運営委員会 佐々木出席
- ・ 2月16日 第3回地質技術者教育委員会開催 JABEE説明会
- ・ 3月9日 土質・地質技術者生涯学習協議会(CPD関係)総会 佐々木出席予定

8. ジオパーク支援委員会 (平田)

特になし

9. 地学オリンピック支援委員会 (星)

- ・ 第12回日本地学オリンピック本選を開催予定(3/15(日)~17(火)つくば市)
- ・ 3/29支援委員会開催予定(於学会事務局)
- ・ 2020年度「チャレンジ地球」の開催方法や時期等について検討中。

10. 地質災害委員会 (斎藤)

特になし

11. 名誉会員推薦委員会委員 (佐々木)

- ・ 2/10締め切り、3名の推薦があった。

以上

2020年3月14日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事) 松田博貴
署名人 執行理事 斎藤 眞